

2019年 1月 20日

陳 情 書

盛岡市議会
議長

天沼 久純様

日米地位協定を見直す会 共同代表

件名

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

要旨

2018年10月、辺野古に新基地建設反対を掲げた知事を沖縄県民が選んだのにもかかわらず、国は、その民意を無視し工事を強行に進めています。この事でも問題になったように、日米地位協定は、日本国憲法の理念、そして地方自治の根幹をも揺るがしかねない協定です。

日米地位協定の考え方(補足版)第二条1項(資料1)に「米軍は、わが国の施政権下にある領域内であれば、どこにでも施設・区域の提供を求められる権利が認められている・・・わが国が米軍の提供を要求に同意しないことは、安保条約において予想されていない」とあるように、日本全国どこにでも米軍基地が出来る可能性がある事になっています。

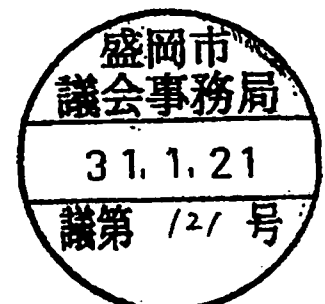
そんな中、全国知事会では、2016年11月から6回に渡り「米軍基地負担に関する研究会」を開催し、2018年7月にとても意味のある提言(資料2)を発表しました。

この提言が、実現できるように、貴議会が国に意見書を提出してもらいたく考えます。

陳情事項

盛岡市議会は、全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨を支持し、国に意見書を提出する事を求める

陳情第 / 号



学童クラブの運営に係る陳情書

陳情の趣旨

学童クラブの運営時間の延長を陳情します。

陳情の理由

現在、子育て世帯につきましては約6割が共稼ぎ世帯であり、核家族化が進む中、放課後児童の安全な居場所対策が急務となっています。

盛岡市立の学童クラブは一部施設が午後7時まで対応していますが、多くの施設は午後6時で終了しています。保護者の就業先も医療、介護、小売り、運送など午後5時で就業時間が終わるものばかりではありません。フルタイムで勤務し午後6時までに学童クラブへ迎えに行くことが出来ないことが顕著化し、一部地域では時間延長した民間の学童クラブが有料で運営されています。しかし経済的負担を伴うことや、関連幼稚園・保育園の卒園生を優先、利用希望者が多いことから順番待ち等、全ての世帯が希望どおり利用できる状況ではありません。

国では、昨今の状況を踏まえ、来年度から学童クラブにおける配置職員の基準を緩和し子育て世帯の支援を打ち出したところです。

盛岡市におかれましても、共稼ぎ世帯のニーズが高まっていることから学童クラブの時間延長について取り組まれるようお願い申し上げます。

平成31年1月25日

盛岡市議会議長 様

陳情者

住所

氏名

上飯岡児童センター保護者会

会長

電話

会長携帯電話

陳情第 2 号



奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で
順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書



～豊かな森を次世代へ～
一般財団法人 日本熊森協会
会長

私たちは国産林業の振興、奥山等人工林の天然林化を願う実践自然保護団体です。

<陳情の趣旨>

戦後の拡大造林政策により造林された1030万haの人工林のうち3分の2が、伐り出し困難、伐り出しても経費で赤字になるなどの理由で、間伐もされず放置されており、青々とした外観とは反対に、内部は下草も消え、表土が流れ、大荒廃しています。

平成31年度の通常国会に提出される、森林環境税及び森林環境譲与税（仮称）法案は、我が国の私有林の整備を進めるために、住民一人につき毎年1000円の税を住民税と一緒に徴収するもので、毎年約620億円の税収が見込まれています。国はこの税金の9割を市町村に、残り1割を都道府県に交付する予定です。

人工林を造り過ぎてしまったことは、私たちだけではなく、林野庁も認めていますので、私たちはこの税を使って、林業採算の取れない放置人工林は以下の目的のために、間伐ではなく一定面積を皆伐し、天然林に戻して行くべきであると陳情致します。

- ・ 山の保水力回復
- ・ 大雨でも崩れにくい災害に強い森造り
- ・ 野生動物たちの餌場を山奥に復元することによる棲み分けの復活
- ・ 花粉症の軽減



26000筆を超える要望署名を国会に提出させていただきます。

<森林環境譲与税の使い方に関する陳情事項>

- (1) 奥山等に放置人工林を持つ市町村は
- ・ 人工林の林業用整備だけではなく、昔から祖先が天然林で残さねばならないとやってきた、①奥山全域、②尾根筋、③沢沿い、④急斜面、⑤山の上3分の1の**放置人工林を皆伐し、天然林化するための人材雇用や事業**に使ってください。(当協会は、間伐しただけでは天然林に戻らないことを実証済みです。一定面積以上の皆伐が必要です)
- (2) 山のない都市部・放置人工林を持たない市町村は
- ・ 水源の森がある他市町村の放置人工林の天然林化を支援することや、奥山天然林を保全・再生することの重要性を国民や子どもたちに伝える環境教育に使ってください。